2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	平成22年度（第２年度）
当初計画　A		△ 49,194	187,439
解消実績額　B		△ 29,194	—
現在計画　C		△ 29,194	167,439
B－A又はC－A		20,000	△ 20,000
資金不足額	138,246	167,440	—

3　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）		平成22年度（第２年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	276.4	624.8	334.8	—

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・土地使用料の一括精算を最低条件とする和解案を提示した。

・起債の支払利息の軽減措置として低利への借り換えを実施する。

奈良県宇陀市　保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・指定管理者制度導入に向け、条例改正等の条件整備に着手。

・一般会計からの繰入れについて、当初計画どおりに実施した。

・企業債償還金及び同支払利息と一時借入金支払利息で一般会計の繰入れとほぼ相殺したため、繰入れの投入効果が余り出なかった。

・新型インフルエンザ等の影響もあり、営業収益が当初計画より減収するとともに、流動負債の一時借入金の増加で、資金不足額及び資金不足比率が対前年度比で増加に転じた。

2　資金不足解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）
当初計画　A		98,216	49,691	△ 143,356
解消実績額　B		43,911	—	—
現在計画　C		43,911	49,691	△ 143,356
B－A又はC－A		△ 54,305	0	0
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,182,839	1,326,195

平成24年度（第４年度）	平成28年度（第８年度）	平成32年度（第12年度）
71,613	167,667	153,247
—	—	—
71,613	167,667	153,247
0	0	0
1,254,582	718,619	98,580

3　資金不足比率の状況

（単位：％）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）		平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	262.8	265.2

平成24年度（第４年度）	平成28年度（第８年度）	平成32年度（第12年度）
計画値	計画値	計画値
236.7	135.5	18.5

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置状況

・総務省の地方公営企業経営アドバイザー事業を実施した。

・個別外部監査契約に基づく個別監査を実施した。

和歌山県串本町　国民宿舎事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・当計画では、平成20年度決算時に194.1％であった資金不足比率を、一般会計から繰り入れを行うことによって０％にする計画としている。

・当会計では、企業債の元利償還金に対して繰り入れを行っているが、平成27、28年度に当該元利償還金が減少するため､その減少分を通常の不良債務解消分18,501千円に上乗せすることにより、平成28年度までにその全額を解消する計画としている。

・平成21年度はほぼ計画どおり、資本的収入に16,526千円、収益的収入に25,050千円、合計41,576千円の繰り入れを行った。

・平成20年度末で162,797千円であった不良債務が21,076千円減少し、141,721千円となったが、資金不足比率については、指定管理者の営業収益（事業規模）が83,865千円から66,600千円に減少したことから、212.7％に上昇した。

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）
当初計画　A		15,935	18,501	18,501	18,501